

ふるさと上越 ネットワーク たより

3. 次回サロンは9月12日(木)に開催です。

「J ネットサロン」は第 2 木曜日の 17:30~19:30 です。

会場は千代田線「湯島駅」6 番出口から徒歩 1 分の「東京新潟県人会館」です。3 階の A 会議室へお入りください。

運営委員会を 16:00~17:30 に開催しておりますので、早く来られた方は入室されて会議を傍聴して下さい。

4. 八月のJネットサロン

8/8(木)の県人会館での J ネットサロンには「高田開府 400 年 T シャツ」のイラストを描いた市川リントロウさんが参加してくれました。

また、毎回上越から吉川杜氏のお酒を持参して下さる「上越タイムス」の市村部長が首都圏版にその様子を記事にしてくれました。(右側の記事参照)



高田開府400年記念Tシャツに描かれたデザイン

市川さんは、児童文学者で高田警女研究家としても知られる市川信美さんの長男。父親の七五調の詩と本人のイラストを組み合わせてデザインを仕上げた。黒地に金文字の配色で、背中にイラストと詩を並べている。イラストは輝く高田城に扇を向け並ぶ初代高田城主の松平忠輝と正室の五郎八姫を描いた。詩は「むかしむかし四百年 若き城主忠輝といし新妻いろは姫 愛をつむいだ高田城」「花の高田の名物は 雪と雁木と警女の唄 寄つてきないや新幹線 おらとおま

市川さんは、児童文学者で高田警女研究家としても知られる市川信美さんの長男。父親の七五調の詩と本人のイラストを組み合わせてデザインを仕上げた。黒地に金文字の配

イラスト手がける

上越市大手町出身で介護漫画冊子を発行している市川リントロウさんが、8日に東京新潟県人会館で開かれたふるさと上越ネットワークの集いに訪れ、自らイラストを描いた高田開府400年記念TシャツをPRした。

参加者はTシャツをアピールする市川さんの話に、「現代の最前線で活躍する人は背中を見せて闘う」などとジョークをとばし喜んでた。Tシャツは上越市本町の総合繊維卸「ジョーセン」で製造。2100円。上越観光物産センターなどで販売している。

高田開府400年Tシャツ Jネット集いでPR

上越市大手町出身の漫画家

市川リントロウさん



Jネットの東京サロンを訪れた漫画家の市川リントロウさん